

りんご品種「ふじ着色系」の特性

1. 試験のねらい

ふじ着色系は、昭和41年頃から枝変わりとして各地で発見され、現在までに約90系統ほど確認されている。その中でも特に有望と思われるいくつかの系統の特性を明らかにし、本県に適した系統を選抜する目的で昭和56年～63年に試作検討を行った。

2. 試験方法

昭和56年3月植え、M26台を用いたふじ着色系7系統を5樹ずつ供試した。栽植様式は4.5 m × 2.1 mの並木植えて、スレンダースピンドルブッシュ仕立てとした。調査は、寒冷地果樹系統適応性検定試験調査要領に準じて行った。なお、供試した各系統の来歴を表-1に示した。

3. 試験方法

ふじ着色系各系統の生育特性と果実品質を表-2に示した。各系統とも生育特性や収量には大きな差は認められなかった。糖度などの果実品質についても、各系統に差は認められなかった。

年次別にみた着色（カラーチャート値）は表-3のとおりで、各年次とも安定した着色が認められたのは「山ふ-2」、「秋ふ-1」及び「岩ふ-10」であり、5か年間とも4.0～4.5の値を示した。「山ふ-2」は全面着色に近い縞状に着色、「秋ふ-1」と「岩ふ-10」は縞状に着色する系統である。

4. 成果の要約

ふじ着色系の本県における適応性を検討した。着色の安定性からみて、ふじの着色系を栽培する場合は「山ふ-2」、「秋ふ-1」及び「岩ふ-10」の3系統がよいと思われた。

着色系を栽培する場合でも、着果過多や窒素過多などで、系統本来の着色を示さない場合があるので、ふじ同様、夏季の新しょう管理や葉摘みなどを確実にを行うよう留意する。

（担当者 果樹部 早田 剛）

表-1 ふじ着色系各系統の来歴

系 統 名	発 見 地	着色のタイプ
山 ふ - 2	山形県園芸試験場・盛放ふ1の枝変り	全面～縞
秋 ふ - 1	秋田県平鹿町醍醐	縞
盛放ふ-3A	農林水産省果樹試験場盛岡支場 ・盛放ふ3から発見	縞
岩 ふ - 10	岩手県紫波町	縞
長 ふ - 2	長野県南安曇郡三郷村	縞
群 ふ - 2	群馬県園芸試験場	縞
青 ふ - 13	青森県弘前市原ヶ平	縞

(農林水産省果樹試験場報告より)

表-2 ふじ着色系の生育特性及び果実品質

系統名	開花期			収穫期			収 量 kg/樹	果 重 g	着色 %	糖 度 %	酸 度 %	硬 度 ポンド
	始	盛	終	始	盛	終						
山 ふ - 2	5. 1	5.4	5.7	11. 1	11. 7	11.11	12.0	286	4.4	15.2	0.44	10.4
秋 ふ - 1	5. 1	5.5	5.7	11. 1	11. 6	11.11	12.5	277	4.6	15.0	0.40	10.7
盛放ふ-3A	4. 30	5.4	5.7	11. 1	11. 7	11.12	13.0	274	4.0	15.0	0.46	10.2
岩 ふ - 10	4. 30	5.4	5.6	11. 1	11. 7	11.10	11.9	275	4.4	15.0	0.44	10.1
長 ふ - 2	4. 30	5.4	5.7	11. 1	11. 7	11.11	12.2	279	3.2	15.1	0.42	10.6
群 ふ - 2	4. 30	5.4	5.7	11. 1	11. 6	11.12	13.4	278	4.0	15.2	0.41	10.0
青 ふ - 13	5. 1	5.4	5.8	11. 2	11. 8	11.12	13.6	280	3.4	15.1	0.42	10.0
ふ じ	5. 1	5.4	5.7	11. 1	11. 8	11.12	12.1	275	3.0	15.1	0.45	10.1

注. 数値は昭59～63年の5か年間の平均値、収量は9年生樹の値

表-3 年次別にみた着色(カラーチャート値)

系 統 名	59	60	61	62	63	平均
山 ふ - 2	4.5	4.5	4.0	4.5	4.5	4.4
秋 ふ - 1	4.5	4.8	4.5	4.5	4.5	4.6
盛放ふ-3A	4.0	4.0	4.5	3.5	4.0	4.0
岩 ふ - 10	4.0	4.5	4.2	4.5	4.5	4.4
長 ふ - 2	2.5	4.4	2.5	3.5	3.0	3.2
群 ふ - 2	3.5	4.0	4.5	4.0	4.0	4.0
青 ふ - 13	2.5	4.3	3.0	3.5	3.5	3.4
ふ じ	2.5	4.0	2.5	3.0	3.0	3.0